

授業科目	地域・在宅療養を支える看護Ⅲ	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2年次後期	1単位	講義	30時間
到達目標	1. 地域で暮らす療養者と家族を支える看護の基本について理解する。 2. 暮らしの場で行われる医療的ケアにおいて、アセスメントや援助技術の基本を学ぶ。 3. 暮らしの場に必要な医療機器管理、観察、異常の早期発見の基本的事項について、療養者とその家族へのセルフケア支援を学ぶ。					講師
						訪問看護師
授業計画						
1回	1. 訪問看護の基本 2. 暮らしの場で行われる医療的ケアの原理原則 *DVD視聴等					
2回	在宅療養で特徴的な疾病がある療養者とその家族への看護① 障害がある児への看護 *ヘルス・病態・症状アセスメント、家族・生活アセスメント、支援方法の実際 *事例にあわせ12項目の医療的ケア援助技術をとりいれる *DVD視聴、グループワーク等					
3回	在宅療養で特徴的な疾病がある療養者とその家族への看護② 認知症高齢者への看護 *ヘルス・病態・症状アセスメント、家族・生活アセスメント、支援方法の実際 *事例にあわせ12項目の医療的ケア援助技術をとりいれる *DVD視聴、グループワーク等					
4回	在宅療養で特徴的な疾病がある療養者とその家族への看護③ 精神疾患がある療養者への看護 *ヘルス・病態・症状アセスメント、家族・生活アセスメント、支援方法の実際 *事例にあわせ12項目の医療的ケア援助技術をとりいれる *DVD視聴、グループワーク等					
5回	在宅療養で特徴的な疾病がある療養者とその家族への看護④ 難病がある療養者への看護 *ヘルス・病態・症状アセスメント、家族・生活アセスメント、支援方法の実際 *事例にあわせ12項目の医療的ケア援助技術をとりいれる *DVD視聴、グループワーク等					
6回	在宅療養で特徴的な疾病がある療養者とその家族への看護⑤ 終末期にある療養者への看護 *ヘルス・病態・症状アセスメント、家族・生活アセスメント、支援方法の実際 *事例にあわせ12項目の医療的ケア援助技術をとりいれる *DVD視聴、グループワーク等					
7～15回	医療的ケア援助技術 1.服薬管理 2.在宅経管栄養法 3.輸液管理 1)在宅中心静脈栄養法 2)末梢静脈栄養法 4.在宅酸素療法(HOT) 5.在宅人工呼吸療法(HMP)・非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)・気管切開下間欠的陽圧換気療法(TPPV) 6.排尿ケア 1)膀胱留置カテーテル 2)清潔間欠導尿(自己導尿) 7.ストーマ管理 8.インスリン自己注射管理 9.CAPD管理 10.褥瘡管理 11.疼痛管理 12.化学療法・放射線療法 *DVD視聴 *シミュレーション演習(モデル人形等を活用してのSIM,DEB) *グループワーク *学生間でのロールプレイ					
評価方法	修了試験 選択肢問題又は論述問題による筆記試験(100%)					
教科書	系統別看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 医学書院 系統別看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 医学書院					
参考書	ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術					
備考	1.診療補助技術ⅠⅡ、成人・老年・小児・精神の各看護学方法論の講義・演習内容の復習をすること。 2.事前・事後課題を教科書・講義内容・配布資料より予習・復習をすること。 3.個人・グループワークでの課題学習に取り組み、発表準備に備えること。					